

地域内ライダーシステム 事後評価要約版(29年度)

支局 No.	自治体・協議会名		二次評価
	事業概要		
	自己評価		
	蒲郡市地域公共交通会議		
愛知	20	形原地区支線バス	
		<p>事業全体の数値目標は、3事業合わせて3,360人と設定しており、4,517人で十分目標値は達成している。</p> <p>形原地区支線バス 左回りルートA(ユトリーナ経由なし) 数値目標は便当たり3.6人で設定。実績は3.0人/便であり、他のルートの中で最も悪い。</p> <p>形原地区支線バス 左回りルートB(ユトリーナ経由あり) 数値目標は便当たり3.6人で設定。実績は5.6人/便であり、目標達成。</p> <p>形原地区支線バス 右回りルート 数値目標は便当たり3.6人で設定。実績は4.9人/便であり、目標達成。</p>	<p>形原地区支線バスは、地域主体で事業を推進されており、形原地区公共交通協議会と協働して利用促進策を実施していることを評価します。</p> <p>今後は、網形成計画の事業を着実に実行しながら、まちづくりや観光も視野に入れ、鉄道、路線バスを含めた持続可能な公共交通ネットワークの構築を期待します。</p>

調査事業(計画推進事業) 事業評価要約版(29年度)

支局 No.	自治体・協議会名 事業概要 自己評価	二次評価
愛知 6	蒲郡市地域公共交通会議 ○乗降調査の実施 ○住民アンケートの実施 ・蒲郡市地域公共交通網形成計画に定める計画の目標に対する評価を行うため、路線バス及び支線バスでの利用者アンケート調査を実施し、計画に定める利用者数や利用者の満足度等の調査を実施。 ・「公共交通の評価」等の住民ニーズ把握のため住民アンケートを実施し、集計・結果の共有を行った。 ・調査の結果、満足度の低いダイヤ設定や鉄道との接続性を改善するため、支線バスのルート・ダイヤの見直しを予定。 ・路線バスについては、事業者と調査結果を共有し、事業改善・利用促進策について協議を開始。	網形成計画の評価を行うための路線バス、支線バスの利用者アンケート調査を的確に実施しています。アンケートの調査結果を基にルート・ダイヤの見直しや利用促進策を既に協議しており、利用者の増加や収支率の改善につなげられることを期待します。